

愛媛県立医療技術大学 保健科学部

令和 7 年度

特別選抜（学校推薦型選抜） 入学試験問題

小 論 文

（120 分 40 点）

＜看護学科・臨床検査学科＞

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはならない。
- 2 問題用紙は 1 ページから 4 ページまでである。
- 3 解答用紙は 2 枚である。
- 4 問題用紙の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁または解答用紙の汚れ等により解答に支障がある場合は，手を挙げて監督者に知らせること。
- 5 解答用紙には受験学科・受験番号を所定の欄に記入すること。
- 6 解答用紙の※印欄は記入しないこと。
- 7 下書きは，下書き用紙を利用すること。
- 8 試験開始後 30 分間及び試験終了前 10 分間は退室しないこと。
- 9 解答用紙は必ず提出し，問題用紙と下書き用紙は持ち帰ること。

I (配点 20 点)

以下の文章を読み、問 1 および問 2 に答えなさい。なお、解答用紙には「 」を記載する必要はありません。

著作権保護のため、公表していません。

著作権保護のため、公表していません。

出典

和泉悠（2023）：悪口ってなんだろう，pp. 43-47，筑摩書房（出題者により一部改変）

問1 悪口はどうして悪いのか，その理由を著者のことばを用いて 40 字以内で説明しなさい。

問2 下線部のような状況について，身近な具体例を挙げ，なぜそのようなことが起こるのか，それを防ぐためにはどうしたらよいか，原因と防止策についてあなたの考えを 400 字以内で述べなさい。

Ⅱ (配点 20 点)

以下の文章と図をもとに、問 1～問 3 に答えなさい。

「子どもの生活と学び」研究プロジェクトは、2014 年から毎年実施されています。以下の図 1～3 は、2023 年に公表された第 8 回調査の結果のうち、図に示した年次における小学校 4～6 年生の回答結果です。なお、国内での新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行に伴い、2020～2022 年にかけて三密回避の対策が取られました。

著作権保護のため、公表していません。

図 1 学校の授業で行ったことについて「よくあった」「ときどきあった」の回答を足した割合

著作権保護のため、公表していません。

図 2 勉強方法について「よくする」「ときどきする」の回答を足した割合
(2019 年と 2022 年で回答割合が共に 50%に満たない回答項目は割愛済)

著作権保護のため、公表していません。

図3 ICT機器を使った学習の効果と影響について「とてもそう思う」「まあそう思う」の回答を足した割合

問1 図1の2019年と2022年の回答割合を比較して、学校の授業で行ったことについての変化について90字以内で答えなさい。

問2 図2にて2019年と2022年の回答割合を比較して、変化の幅が大きい上位2項目は何か、そして具体的にどれくらい変化しているのか、100字以内で記述しなさい。その際、「変化の幅」「上位2項目」の2語を含むようにしなさい。

問3 2020年のCOVID-19感染拡大防止対策のため、小学校ではICT機器を使った学習の導入が急速に進み、年が進むごとに導入頻度が高まっています。図3にはその効果と影響について2021年と2022年の回答割合を示しています。図1～3を総括して、学校の授業や勉強方法の変化が、ICT機器を使った学習効果と影響に対してどのように関係している可能性があるのか、プラス、またはマイナスのいずれか一側面から150字以内で記述しなさい。

(出典)

ベネッセ教育総合研究所(2022) 東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所共同研究「子どもの生活と学びに関する親子調査 2022」(PDF版)より抜粋・改変(2024年10月参照)

https://benesse.jp/berd/up_images/research/pdf_oyako_tyosa_2022_230703.pdf